

宮下建設株式会社の環境行動計画

平成23年11月30日

■ 取組方針

宮下建設株式会社は、環境保全の果たす役割が重要であると認識しており、地域社会との連携と融和を図りながら、事業活動に伴う環境への負荷低減に努めます。このため社員一丸となって強い意識を持って環境保全活動を推進します。

- ① 事業活動の中の省エネルギーと省資源（紙使用量の節約）
- ② 二酸化炭素の排出量の削減
- ③ 廃棄物のリサイクルの徹底と排出量の削減

この方針にそって、社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成23年11月30日

宮下建設株式会社
代表取締役 越 渡 伸 廣

3 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標—1	二酸化炭素の排出量を、平成 21 年度の 657,635 (kg-CO ₂) を基準として平成 24 年度までに 3%削減の 637,905 (kg-CO ₂) 以下に削減する。
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 冷房温度 (28 度) と暖房温度 (20 度) を厳守する ② 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源 OFF を徹底する ③ 人のいないエリアの消灯を徹底する ④ パソコン・コピー機の節電機能を活用する ⑤ 照明器具の省エネ化を進める <p>(車両の使用に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アイドリングストップを徹底する ② 車両運転開始時に点検を行う

目標—2	産業廃棄物の分別の徹底によるリサイクルと一般廃棄物の排出量を、平成 22 年度の 1,015 トンを基準として平成 24 年度までに 3%削減の 984 トン以下に削減する
具体的な取組	<p>(一般廃棄物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物は、決められたごみ箱 (可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、パンフレット、封筒、廃プラスチック) に分別して出す ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する ④ 使用済みインクカートリッジはリサイクル業者に回収してもらう ⑤ 詰め替え可能な製品を優先的に購入する ⑥ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう <p>(産業廃棄物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 産業廃棄物管理表 (マニフェスト) をもとに産業廃棄物の適正な管理を徹底する。 ② 産業廃棄物の分別を徹底し、仮置きを整備する。

目標一3	コピー用紙とその他の紙の使用量を、平成22年度の624kgを基準として平成24年度までに3%削減の605kg以下に削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

目標一4	水の使用量を平成22年度の357m ³ を基準として平成24年度までに3%減の346m ³ に削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 配管から漏水を定期的に点検する ② 手洗い場に節水を呼びかけるシールを貼る ③ 洗車をする時は、水を流しっぱなしにしないようにする

目標一5	環境に配慮したOA機器・事務用品の使用・普及と地域社会への貢献活動を推進する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーン購入法で定められた物品の調達にあたっては、グリーン化購入率をできるだけ100%に近づける ② 社内で使用するOA機器・事務用品・制服などはグリーン製品から選択する ③ 従業員全員がグリーン製品に関する商品知識を身につける

4 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックする。